



MacBook Air 13インチ Late 2010のマイクの交換

このガイドを参照して、消耗したマイクを交換しましょう。

作成者: Andrew Bookholt



はじめに

このガイドを参照して、消耗したマイクを交換しましょう。

ツール:

- MacBook Air 星形ペンタローブネジ用ドライバ (1)
- スパッジャー (1)
- T5トルクスドライバー (1)

部品:

- MacBook Air 13" (Late 2010) Microphone (1)

手順 1 — 下部ケース



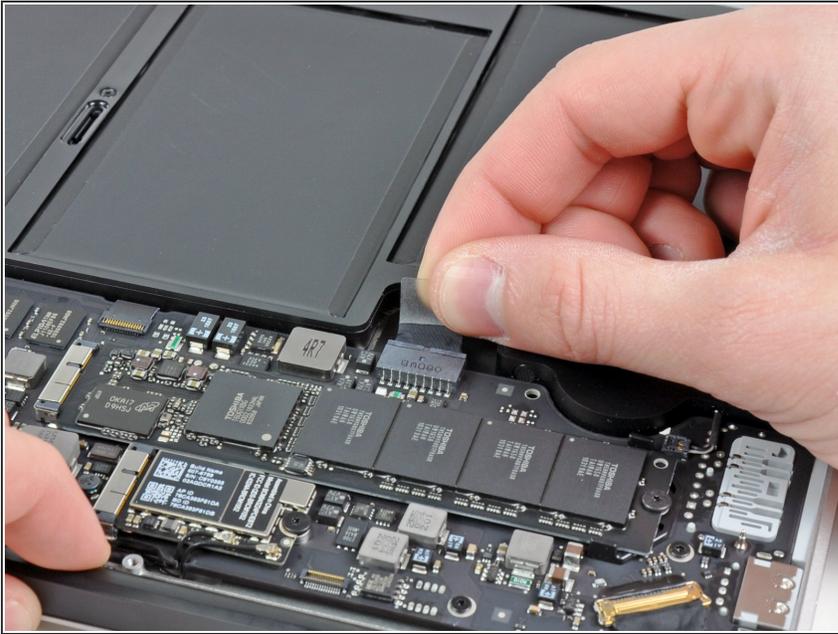
- ① 作業を始める前に、デバイスの電源を切り、デバイス本体を閉じて裏返し、タオルなど柔らかい表面上に載せてください。
- 次のネジを10本外します。
 - 9 mm 星形ペンタローブネジ—2本
 - 2.6 mm 星形ペンタローブネジ—8本
- ① この星形ペンタローブネジを外すには特殊ドライバーが必要です。[こちら](#)からご購入できます。

手順 2



- 指をディスプレイと下部ケースの間に差し込み、Airから下部ケースを持ち上げます。
- 下部ケースを取り出して、傍に置きます。

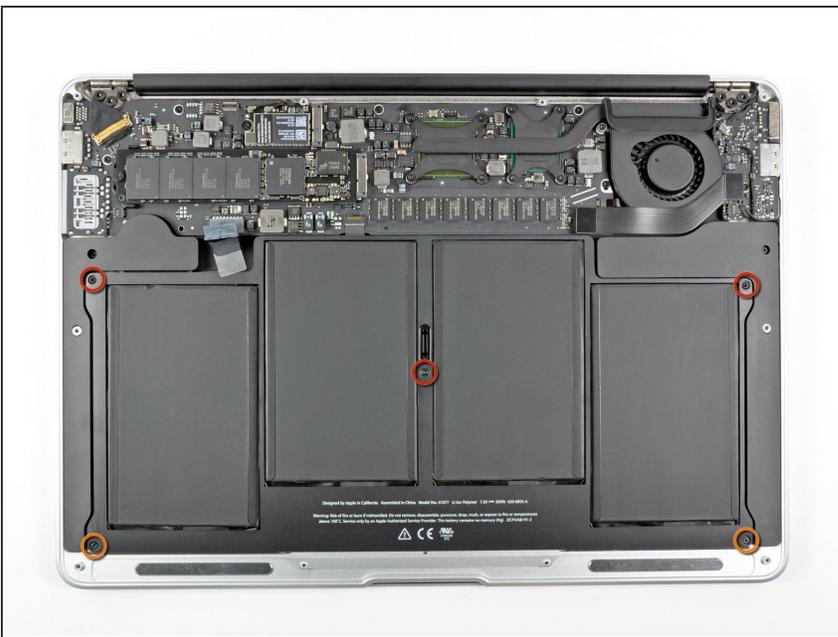
手順 3 — バッテリー



- バッテリーコネクタに付いている透明プラスチックのプルタブを掴み、Airの前方に向けて引っ張り、ロジックボードからバッテリーを外します。

⚠️ コネクタを外すときにコネクタを上を持ち上げないでください。

手順 4



- バッテリーを上部ケースに固定している次の5本のネジを取り外します:
 - 6.3mm T5トルクスネジ 3本
 - 2.4mm T5トルクスネジ 2本

手順 5

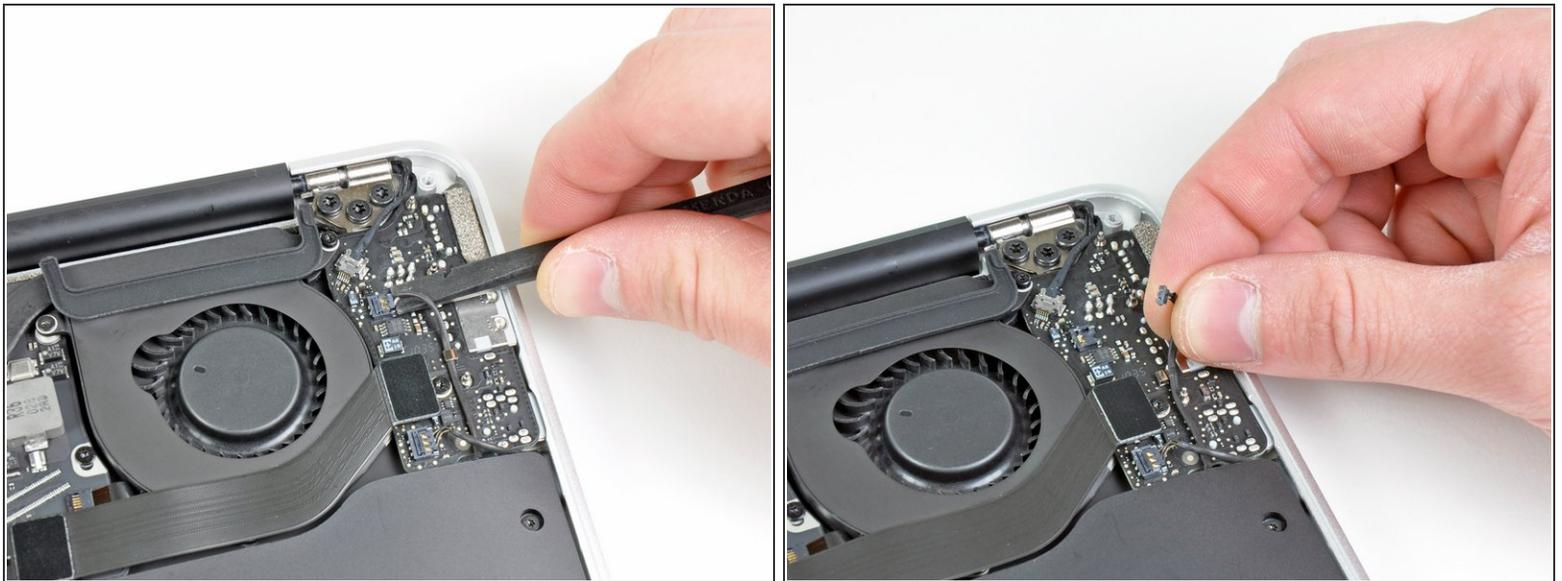


⚠ バッテリーを取り扱う際は、露出したリチウムポリマーセルに接触したり押さえたりしないでください。

- ロジックボード付近の端からバッテリーを持ち上げ、上部ケースから取り出します。
- ☑ この修理ガイドを完成したら、新しく装着したバッテリーの[カリブレーション](#)を行なってください。
 - 100%になるまで充電します。充電後も最低2時間はプラグを繋げたままにします。それからプラグを外して、通常通り使用しながら、自然に放電させます。バッテリー残量小のサインが表示されたら、これまでの作業を保存して、スリープ状態になるまで放置してください。スリープ状態に入ったら、少なくとも5時間置きます。それから一気に100%まで充電します。
 - 新しいバッテリーを装着後、通常通り作動しない場合は、[MacBook ProのSMCをリセット](#)しなければならない可能性があります。

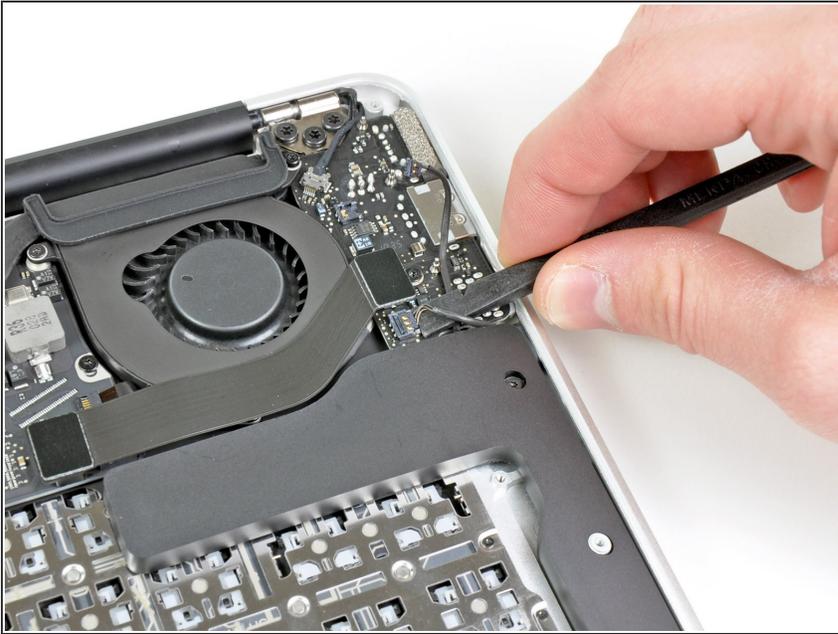
- 交換用バッテリーは、プラスチック製のライナーやフィルムが付属している場合があります。プラスチックフィルムは簡単に取り外せるので、装着前に外してください。ライナーは厚く、穴を開けてしまうアクシデントに対する防御層として機能します。ライナーはバッテリーから外さないでください。

手順 6 — 左側スピーカー



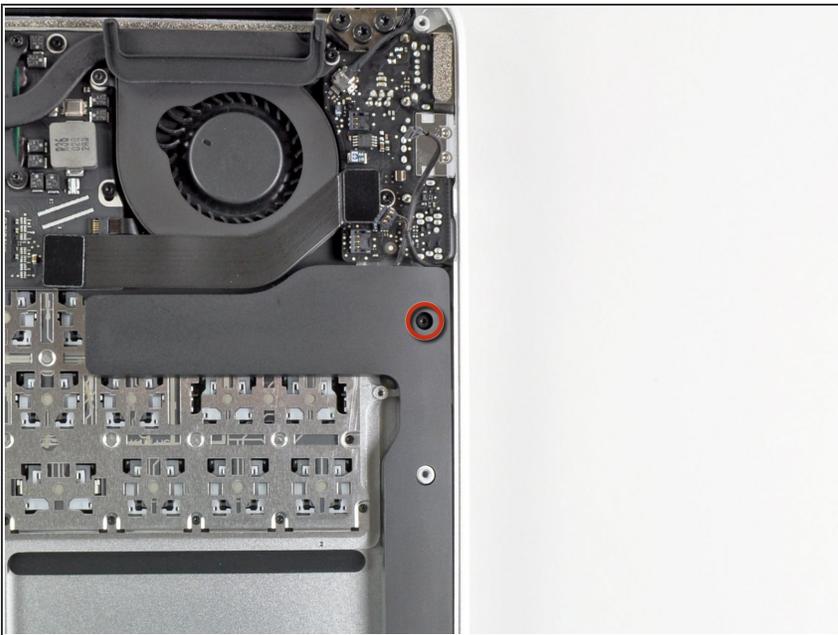
- スパッツァーの平面側先端を使って、I/Oボード上のソケットから左側スピーカーケーブルコネクタを持ち上げます。
- i** ワイヤーの下から持ち上げてください。

手順 7



- スパッジャーの平面側先端を使って、I/Oボード上のソケットからマイクケーブルコネクタを持ち上げます。
- ⓘ ワイヤの下から持ち上げてください。

手順 8



- 左側スピーカーを上部ケースに固定している2.7mm T5トルクスネジを1本外します。

手順 9



- スパッツァーの平面側先端を使って、上部ケースに留められた接着剤を剥がして、左側スピーカーを持ち上げます。
- 上部ケースから左側スピーカーを取り外します。

手順 10 — マイク



- スパッツァーの先端を使って、上部ケースの左側に留められた接着剤からマイクを剥がします。
- 上部ケースからマイクを取り外します。

デバイスを再度組み立てるには、この説明書の逆の順番で組み立ててください。